

2026 J A 全農杯全国小学生選抜サッカー I N 山形

実 施 要 項

1. 趣 旨 日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
2. 名 称 2026 J A 全農杯全国小学生選抜サッカー I N 山形
3. 主 催 N P O 法人山形県サッカー協会
4. 主 管 山形県サッカー協会 4 種委員会／山形地区サッカー協会 4 種委員会
5. 期 日 2026 年 9 月 5 日（土）～9 月 6 日（日）
6. 会 場 山形市球技場・山形県総合運動公園第 2 運動広場
7. 表 彰 優勝 ： 賞状・優勝トロフィー
準優勝： 賞状・準優勝トロフィー
第 3 位： 賞状・第 3 位トロフィー
第 4 位： 賞状
8. 参加資格 ①「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下「J F A」）第 4 種に加盟登録していること。
②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動しており、小学 5 年生以下の単一チームで構成されていること。
③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
④引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内 1 名以上が J F A 公認コーチ資格（D 級コーチ以上）を有すること。
原則として J F A の発行した公認指導者ライセンス証（各チームで印刷）（写真付）を持参すること。
※公認指導者ライセンス証とは、J F A W E B システム「K I C K O F F」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、P C 等の画面に表示したものを示す。
⑤「参加チーム」はスポーツ傷害保険等に参加していること。
⑥「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
⑦「参加選手」は、原則として J F A の発行した加盟チームの選手登録証（各チームで印刷）（写真付）を持参すること。
※選手証とは、J F A W E B システム「K I C K O F F」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを示す。
9. 参加チーム数 各地区予選大会を勝ち進んだ地区代表 16 チーム
山形 6、鶴岡 4、酒田新庄 1、置賜 5 チーム
10. チーム構成と条件 原則として、引率指導者 2 名以上 3 名以内、小学 5 年生以下の選手 16 名以上 20 名以下とする。
試合開始時点で、けが人等が出てプレーできる選手登録人数が 15 名以下になった場合は失格とする。

11. 選手登録 参加申込書（エントリー用紙、プログラム用）に必要事項を記入の上、**8月8日（土）まで**下記宛先に送付すること。
 <提出先>
 山形地区サッカー協会 4 種委員会 早坂までメールにて送付すること。
 ya4shu2018@yahoo. co. jp
- 《選手変更》
 登録選手の変更については、6 名を上限に認めることとし、9 月 5 日（土）各チーム第一試合のメンバー表提出時まで、登録選手変更届を記入し大会本部へ提出すること。なお、背番号の変更については大会を通して認めないこととする。
12. 組み合わせ 別途組み合わせとする。
13. 大会形式 1 次ラウンド：16 チームを 4 グループに分け、1 グループ 4 チームのリーグ戦を行い、各グループ上位 2 チームが決勝トーナメントに進出する。
 ※順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とする。
 勝点は、勝ち：3 点 引分け：1 点 負け：0 点とする。
 但し、勝点が同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。
 決勝トーナメント：上位 8 チームによるトーナメント戦を行う。
 上位 2 チームに山形県代表として東北大会への出場権を与える。
14. スケジュール（予定）
 9 月 5 日（土）
 開会式は行いません。
 9：30～16：00 1 次ラウンド
- 9 月 6 日（日）
 9：30 決勝トーナメント 1 回戦（準々決勝）
 10：30 “
 11：45 準決勝
 12：45 交流戦
 14：00 決勝 3 位決定戦
 14：45 表彰式
 15：00 解散
- ※大会両日において監督会議及びマッチミーティングは実施しない。
 各チームとも試合開始 60 分前に、メンバー表・ユニフォーム正副・選手証（1 日目各チーム第一試合のみ、J F A W E B システム「K I C K O F F」から出力した登録選手一覧（顔写真有り・背番号を付して背番号順に並べたもの）を印刷したもの）・指導者証（ベンチ入りスタッフのみ）・試合球を大会本部へ持参すること。
15. 競技方法 2025/2026 年度 J F A 「サッカー競技規則」及び「8 人制サッカー競技規則」による。
 但し、以下の項目については特に本大会用として大会規定を定める。
- (1) プレーの時間：36 分（12 分×3 ピリオド）
 第 1 ピリオドと第 2 ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第 2 ピリオドと第 3 ピリオド間は、5 分とする。
 第 1 ピリオド、第 2 ピリオドは選手を総替えすること。第 3 ピリオドは自由。
 第 3 ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分を経過したところでサイドを替える。
 タイミングは審判にゆだねる。
- (2) 試合の勝者を決定する方法（12 分×3 ピリオドで勝敗が決しない場合）
 1 次ラウンドは引分けとする。決勝トーナメントは、試合終了時に出場している 3 選手による PK 方式を採用し、勝者を決定する。決勝のみ 6 分（前・後半 3 分）の延長を行い、決しない場合は PK 方式により勝者を決定する。
 ※延長戦に入る前のインターバルは 5 分、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分
 決勝トーナメント 1 回戦、準決勝、3 位決定戦は同点の場合はすぐに PK 方式により勝者を決定する。

(3) 選手の交代

競技者の数は、常に 8 人（うち 1 人はゴールキーパー）とする。

第 1 ピリオド出場予定の 8 人、第 2 ピリオド出場予定の 8 人と、その他交代要員を予め明確にする。交代要員含め同一選手の出場は最大で 2 ピリオドまでとし、3 ピリオド全てに出場することはできない。

事故・怪我等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が 11 人以下になったときに限り、1 試合で 3 つのピリオドに出場することを認める。（延長戦はピリオドの数に含まれない）

① 第 1 ピリオド

予め決められた第 1 ピリオド出場予定選手が出場する。

試合中の事故、怪我で交代する場合は交代要員が出場する。交代要員とは提出したメンバー表出場印がついていない選手を指す。交代選手全員が事故、怪我等で出場困難となった場合に限り、第 2 ピリオド出場予定の選手が出場できる。交代して退いた選手は再び出場できない（＝自由な交代ではない）。

② 第 2 ピリオド

予め決められた第 2 ピリオド出場予定選手が出場する。

試合中の事故、怪我で交代する場合は、交代要員が出場する。第 1 ピリオドで交代して出場していても出場は出来る。交代選手全員が事故、怪我等で出場困難となった場合に限り、第 1 ピリオド出場予定の選手が出場できる。交代して退いた選手は再び出場は出来ない（＝自由な交代ではない）。

③ 第 3 ピリオド

第 1・第 2 の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員選手含めて誰でも出場できる。

何回、何人でも交代ができ、一度退いた選手も再び出場できる（＝自由な交代）。

④ 延長戦

交代要員選手含めて誰でも出場できる。

何回、何人でも交代ができ、一度退いた選手も再び出場できる（自由な交代）。

⑤ 交代について

交代は交代ゾーンで行う。交代はインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、ゴールキーパーの交代はボールがアウトオブプレーになった時に、主審に通知した上で主審の許可を得て交代を行う。また、交代して退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

⑥ ベンチ入り人数（試合出場選手含む）

大会登録選手 20 名と指導者 2 名以上 3 名以内（うち 1 名以上は J F A 公認コーチ資格（D 級以上）を有すること）までとする。

(4) サイドコーチ・異議

ベンチ（監督、コーチ、スタッフ、役員他）が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度警告を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退場処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。

(5) 警告・退場

通常の競技規則に準ずる。但し退場処分になった場合は他の選手を補充（(3)による）し、常に 8 人でプレーできるものとする。

大会期間中、警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。

(6) 審判員

主審 1 人制とする。補助審判 1 人を指名する。

各チーム帯同審判（3 級審判以上の資格を有する者）の準備をすること。帯同審判については、原則として J F A の発行した審判証（各チームで印刷）（写真付）を持参すること。

※審判証とは、J F A W E B システム「K I C K O F F」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、P C 等の画面に表示したものを示す。

(7) ユニフォーム

①参加申込時に登録した J F A のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。但し、チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなくてはならない。

②本大会出場チームは正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

③ユニフォーム広告については、J F A ユニフォーム規程に基づき承認された場合のみ許可する。

④選手番号については、参加選手ごとに本大会中、同一のものを使用する。ただし、背番号は 1 ～

９９番とする。

- ⑤ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑥ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合は、ビブス着用でも可とし、ビブスの番号は問わないが、広告表示のないものとする。
- ⑦大会本部は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑧前項の場合、大会本部は、両チームの各２組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ⑨ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑩アンダーシャツ・ショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑪フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。

(8) 登録選手証

本大会に参加する選手は、JFAの発行した選手証を持参しなければならない。ただし、写真登録により、顔の認識ができるものであること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。

※選手証とは、本大会では、JFA WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧を印刷したものを示す。スマートフォンやPC等の画面に表示したものは、本大会では不可とする。

(9) 飲水タイム等：

暑熱下において、ピリオドの中程にCooling Break 又は飲水タイムを採用する。(本部判断)

(10) その他

アディショナルタイムの表示は実施しない。グリーンカードの導入。

ピッチサイズは縦 68m、横 50m、ペナルティーエリア 12m、ゴールエリア 4m、センターサークル半径 7m、PK マーク 8m、ペナルティアーキ 7mとする。

16. 大会参加料：１チーム 5,000 円 口座振込（８月 28 日（金）まで納入してください）

〔振込口座〕 山形銀行寒河江中央支店 普通 口座番号 569038

山形県サッカー協会 4 種委員会 事務局吉田浩昭

※振込は「チーム名」で、また、振込手数料はチーム負担でお願いします。

17. その他

- ①本大会はメンバー表（４種委員会指定）を使用する。
- ②試合で使用するメンバー表は大会本部が準備する。
- ③9 月 5 日（土）各チーム第一試合のメンバー表提出時に選手証を持参し、大会本部から選手証とメンバー表の照合確認を受けること。
- ④試合で使用するメンバー表は、大会登録選手 20 名の中から、第 1 ピリオドと第 2 ピリオドに出場する選手に○印を付し、試合開始の 60 分前に大会本部へ提出すること。
- ⑤本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項に関しては大会本部が最終的に決定するものとする。
- ⑥本大会参加中は試合中に限らず、人道的に不可解な言動や暴力、暴言等があった場合は、大会規律委員にて事実を確認し処分の対象とする。

18. 負傷者に対する対応と災害発生に対する措置について

- ①大会中における怪我等については各チームの責任に帰するものとする。
 - ②各チームにおいて熱中症予防（対策）に努めること。
 - ③災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。
- 救急車を呼ぶ場合は、大会本部に連絡の上、会場の山形県総合運動公園（023-655-5900）または山形市球技場（023-674-7096）から呼んでもらうこと。